

社会資本整備審議会 道路分科会 九州地方小委員会(平成27年度 第2回)
議事概要

1. 日 時

平成28年3月8日(火) 10:00～11:40

2. 場 所

東福第2ビル 1階 第1会議室

3. 出席者

〈委員長〉

溝上 章志 熊本大学大学院 自然科学研究科 教授

〈委員〉

池内 比呂子 (株)テノ・コーポレーション 代表取締役社長

泉 健子 鹿児島大学 名誉教授

大枝 良直 九州大学大学院 工学研究院 准教授

長 安六 佐賀大学 名誉教授

河西 宏 (株)長崎経済研究所 専務取締役

桑野 和泉 (一社)由布院温泉観光協会 会長

辰巳 浩 福岡大学 工学部 社会デザイン工学科 教授

吉武 哲信 九州工業大学大学院 工学研究院 教授

4. 議事内容

【審議結果】

〔一般国道 220 号（東九州自動車道）日南・志布志道路〕

- ・国土を支え、骨格となる幹線道路であり、国として整備を進めるべき道路である。
- ・事業化区間だけでなく、ネットワークとしての有用性を判断するためにも JCT 間の一体的な評価を実施することは評価できる。
- ・名称については、残る区間を事業化する際、今回の区間と混乱しないように工夫してほしい。
- ・一般国道 220 号（東九州自動車道）日南・志布志道路の新規事業化については、妥当である。

〔一般国道 34 号 新日見トンネル〕

- ・当該区間は、交通量が約 350 百台／日あり、混雑度も 2.51 と高く、渋滞が著しいため、新規事業化すべきだと思われる。
- ・周辺の住宅団地開発等も進むなど将来も需要があると思われる区間であり、解決すべきである。
- ・一般国道 34 号 新日見トンネルの新規事業化については、妥当である。

〔一般国道 210 号 横瀬拡幅〕

- ・国道 210 号は、大分市～湯布院を結ぶ主要な観光ルートであり、重要な路線である。
- ・一般国道 210 号 横瀬拡幅の新規事業化については、妥当である。

以 上